

# 粉体技術

# 10

## FUNTAI GIJUTSU

October  
Vol.7, No.10, 2015

### 〈特集〉地域密着特有技術

世界の食料事情と新しい米粉技術について  
「とやまナノテクコネクテッド・次世代ものづくり創出プログラム」における  
湿式微粒化製造法の開発、バイオマスナノファイバーの応用について  
伝統と革新を融合し、「京都プリント」を世界へ  
地域産業の石炭からのスタート  
製鐵所と地域産業開発  
福岡八女「竹の粉碎と樹脂フィラーへの応用」

### 粉体工業展大阪2015のプレビュー

〈技術情報交流懇話会(火曜会)講演〉  
中小企業投資育成制度の役割と活用事例

〈対談〉先達の言葉

〈協会報告〉  
第4回海外情報セミナー報告

〈海外報告〉  
ACHEMA2015と現地工場視察団に参加して

粉づくり・ものづくり・夢づくり®  
— 粉の技術 —

## 粉体工業展大阪2015

## POWTEX OSAKA 2015

2015年10月14日(水)~16日(金)  
インテックス大阪(南港)4・5号館

主催:  APPIE 一般社団法人  
日本粉体工業技術協会  
<http://www.appie.or.jp>

## 第4回海外情報セミナー報告

The Fourth Seminar on Foreign Affairs,  
“Viet Nam, Problems on Entering Vietnamese Market, – Results and Experiences –”

総務委員会 委員長 赤堀 肇紀  
Motoki AKAHORI

### 1. はじめに

第4回の海外情報セミナー、「ベトナム進出における問題を探る～実績と体験談より～」が平成27年7月30日(木)に開催された。会場は第1、2回と同じく、(株)日清グループ本社会議室をお借りして、約50名の方々が参加した。

当セミナーでは第1、2回は中国、第3回はインドネシアを取り上げたが、今回は経済発展著しいベトナムに焦点をあて、第一部の基調講演を住友商事(株)でベトナムの海外工業団地設立に尽力された清水禎彦氏にお願いし、第二部の体験談を実際にベトナムへ進出した企業、富士化学(株)の磯部弘氏、(株)UACJ 鋳鍛の福島洋二氏にお願いした。また、セミナー終了後に交流会も開催した。

### 2. 講演内容

#### 2-1 第一部 基調講演

「最新ベトナム投資環境と住友商事の工業団地」

住友商事(株) 海外工業団地部

清水禎彦 氏 (写真-1)

ベトナムは、安定した政情、良好な日越関係、優秀な人材など、投資環境として近年注目され、実際に日本からの企業進出も増えている。住友商事(株)は、日本企業のベトナム進出を支援すべく、北部に2箇所の工業団地を設立し企業を誘致しサポートしている。講師は、工業団地設立、運営に携わり、その経験から、ベトナムの魅力と現地進出企業の状況、今後の展開を工業団地の紹介も含め説明された。特に、①人件費、電気料金、建設費などのコスト競争力、②親日感情、親和性の高さ、インフラの整備の進展などによる日本企業にとってのオペレーションのしやすさの点で、日本



写真-1 清水禎彦 氏

からの進出をはじめ、中国やタイなどに進出した企業の移管先としてもベトナムは有力候補である点を強調されていた。海外進出の際に懸念される現地でのさまざまなトラブルに対して、当工業団地ではハード・ソフト両面から環境整備を進め、定期的に情報連絡会を設け入居企業の相談を受けるなど、支援体制は充実していると感じられた。

#### 2-2 第二部 体験談

##### 1) 「富士化学のベトナム進出」

富士化学(株) 名古屋事務所

磯部弘 氏 (写真-2)

富士化学(株)は、初の海外進出先にベトナムを選び、2012年4月にプロジェクトが発足した。講師は、当プロジェクトのリーダーとして、準備段階から現在に至るまで、実際にベトナムに赴きプロジェクトを推進している。講演では、当プロジェクトの工程表に沿って、ひとつひとつの工程をどのように進めたかを、苦労話も含め丁寧に説明された。参加者は、ベトナム進出にはどのような作業がどれくらいの期間必要か、どのような点を考慮すべきかがわかり、非常に有意義であった。投



写真-2 磯部弘氏

資許可証、赴任者の労働許可証、製品の個別ライセンスなど、現地で事業を行うにはライセンス取得が必要な場合が多く、その取得の時間と費用をプロジェクト計画時にあらかじめ想定することなど、実際に現地で仕事をしてはじめてわかることを知ることができたのも有益であった。

## 2) 「ベトナムにおける生産拠点展開の現状と課題」 (株)UACJ 鋳鍛 顧問 福島洋二氏 (写真-3)

(株)UACJ 鋳鍛は2003年にベトナムに進出し生産を開始し、現地法人、工場を設立し事業を拡大している。講師は、スタート当時に日本側責任者として立上げをサポートし、2010年から2014年まで現地法人社長を務めた。講演では、その豊富な体験からベトナムの変化や現状、進出におけるポイントを説明された。特に後半は、ベトナムを理解する10のキーワードと題し、ベトナム特有の要素、事情を具体的なデータを使用してわかりやすく解説していただいた。「ベトナムは一年中夏である」「ベトナムは労働人口が豊富で年齢が若い」「ベトナム人は勤勉、優秀で、また親日的である」「ベトナムの労働賃金は東南アジアでは低い方が年々アップ」「ベトナムの労働法は労働者保護の傾向」等々、ベトナム進出を検討している企業には非常に参考になる話であった。

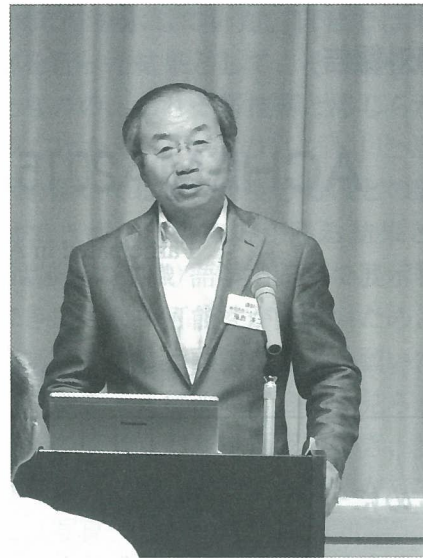


写真-3 福島洋二氏

## 3. おわりに

3名の方々の熱心なご講演で、参加者も引き込まれるセミナーであった。引き続き行われた交流会も、参加者と講師の方々が直接質問や情報交換を行いとても盛況であった。

第5回海外情報セミナーは、平成27年11月10日(火)に、再び(株)日清製粉グループ本社会議室をお借りして開催される。次回はインドを取り上げ、基調講演1件と体験談2件を予定している。詳細は本号 協会からのお知らせ (P.91)、協会ホームページ (<http://appie.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2015/04/20151110kaigaiseminar.pdf>) に掲載されるので、ぜひ多くの方々のご参加をお願いしたい。

最後になるが、第1、2回、そして今回も快く会場を提供していただいた(株)日清製粉グループ本社、また当日の準備などいろいろとご配慮いただいた日清エンジニアリング(株)の方々に感謝申し上げます。

あかほりもととき  
赤堀 肇紀  
赤武エンジニアリング(株) 代表取締役社長

〒410-0302 静岡県沼津市東椎路632  
TEL: 055-925-6666 FAX: 055-925-6688  
E-mail: akahori@akatake.co.jp